

資料5 北海道型公共交通ネットワークの形成に向けて



- 道では、交通を取り巻く環境変化に的確に対応しながら、あらゆる関係者が協働して交通に関する施策を一体となって推進するため、「北海道交通政策総合指針」を策定、2020年度までの3年間で集中的に進める取組として、5つの「重点戦略」を設定。
- 重点戦略の一つ「シームレス交通戦略」では、地域住民や観光客が行きたい場所にスムーズに行ける、利便性が高くストレスのない持続的な移動環境の実現を目指す。

■ シームレス交通戦略

戦略の考え方

鉄道やバス、タクシーなど交通モード間の連携による利便性が高くストレスのない移動の実現

現状と課題・方向性

地域の公共交通の存亡危機 “利用者減少による路線縮小”

人口減少・モータリゼーションの進展

JR北海道による事業範囲の見直し

乗合バスなど生活交通路線の縮小

高齢化の進展による交通弱者の増加

「利便性向上」と「利用促進」、 「連携の促進・強化」の相乗効果

取組の視点

連携の促進・強化

- ・地域の課題解決に向けた交通事業者、行政、住民など関係者による強力なタッグチーム
- ・関係者が一体となった最適な交通ネットワークの構築
- ・持続的な鉄道網の確立

利便性の向上

- ・使いやすさと分かりやすさ、快適さを追求した公共交通

利用の促進

- ・公共交通を大切にする考えとその行動力で地域を守る



“北海道型運輸連合”の構築に向けた取組の概要

○モデル地域の決定（広域的なネットワーク形成に向け優位性がある地域として十勝を選定）

○検討会議の設置（関係者によるコンセンサスを形成）

シームレス交通戦略推進会議のメンバー

- ・有識者（北大・岸准教授、交通経済研究所・土方研究員）
- ・国（運輸局・開発局）
- ・道（交通企画課、十勝総合振興局）
- ・市町村（帯広市、十勝町村会）
- ・交通関係者（JR北海道、十勝バス、北海道拓殖バス、十勝地区ハイヤー協会、帯広空港ターミナルビル）
- ・関係団体（帯広商工会議所、十勝観光連盟 等）



1年目

H30年度

○社会実験に向けた取組内容の検討

- ・具体的な取組の洗い出し、テーマの設定
- ・乗降データ整理や利用ニーズ把握、需要予測
- ・交通アクセス診断の実施 等

○住民向けフォーラム等の開催

- ・実験内容の普及・啓発

2年目

H31年度

○社会実験の実施（利便性の向上に向けた取組を検証）
（テーマ）利用促進・意識改革、乗継ダイヤ、運賃、情報提供など

実施方法やポイントの整理、改善手法の検討など、ノウハウの蓄積

**公共交通の利用促進に向けた
機運醸成**

○モビリティマネジメント
として普及・啓発
（モデル地域での事業全体の取組
内容を全道各地へ普及・啓発）

3年目

H32年度

○社会実験の継続・拡充
（2年目の実施結果を踏まえ、他の路線等での展開）

○他地域での展開に向けた準備

① 広域ネットワークの観点による複数の交通モード

- ▶ 十勝には、JR帯広駅やとかち帯広空港をはじめとする交通結節点が存在するとともに、**帯広市を中核**としたバス路線が縦走。

② 地域の交通事業者や関係者が集まる土壌

- ▶ 「十勝圏二次交通活性化推進協議会」の存在

設置目的：十勝管内における二次交通（バス・タクシー）の充足・利便性向上

【顧問】

- ・道運輸局帯広支局
- ・道十勝総合振興局
- ・帯広市
- ・十勝町村会

【会長】十勝バス(株)

【副会長】帯広ハイヤー(株)

【協力会員】

- ・帯広商工会議所
- ・十勝川温泉旅館組合 等

【監事】

- ・士幌交通(株)
- ・北海道拓殖バス(株)
- ・十勝ハイヤー(株)
- ・(株)まりもハイヤー 等

③ 地域の主体的な取組

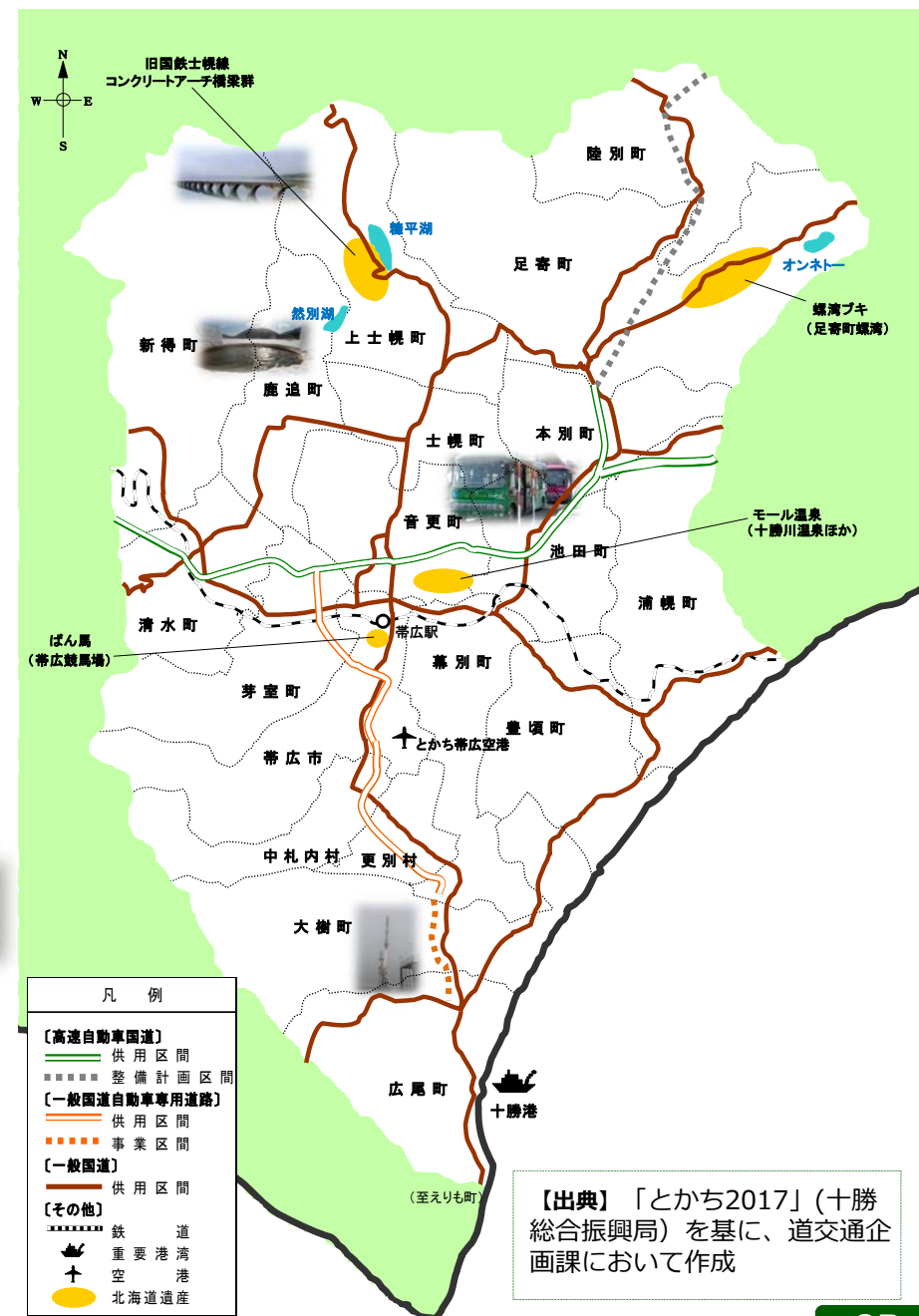
- ▶ 帯広市や音更町では、「地域公共交通網形成計画」を策定し、コミュニティバスを導入するなど、地域の実情に応じた交通体系の実現に向け、前向きな取組を進めている。

- ▶ 十勝バス(株)や拓殖バス(株)では、『インバウンド向けフリーパス「VISIT TOKACHI PASS」(H29.11～)』の販売など、創意工夫の取組を実施。



④ 注目を集める新たな観光資源や自動運転サービスの実証

- ▶ 大樹町では、ロケット打上げなど観光客を引き込む魅力ある地域資源の存在や、道の駅を拠点とした自動運転サービスの実証試験を実施。



【出典】「とかち2017」(十勝総合振興局)を基に、道交通企画課において作成

平成30年度 スケジュール（H30.7月末時点）

1年目

H30.5

第1回

- 検討会議の設置**～関係者によるコンセンサスを形成～
 - ・戦略の概要説明、ドイツの事例紹介
- 関係者による協議開始**
 - ・取組候補の洗い出し、テーマ設定
 - ・役割分担の確認
 - ・整理可能なデータの確認
 - ・各利用者ニーズの把握（アンケート実施可否など）

など

.8

第2回

- 取組内容の協議**
 - ・テーマ毎に、協議の進捗状況確認

- 役割分担に応じ、関係者による個別協議も随時実施

.9～10

第3回

- 取組内容の協議**
 - ・社会実験の**事業規模・費用負担（財源）の想定**
 - ・その他必要となる協力者や手続き等の検討

- H31予算要求に繋げるため、**社会実験の概要決定**

H31.1～

第4回

- 社会実験の詳細決定**
 - ・実施にあたっての調整事項の確認

- フォーラム等の開催**
 - ・実施内容について地域や協力者へ周知

2年目

- 社会実験の実施**